

K006

- T: はい, じゃあ, よろしくお願ひします。
- I: あっ, お願ひします。
- T: はい, 【T】と申します, はい。
- I: 【I (日本名)】と申します。
- T: 【I (日本名)】さん〈はい〉ですね, はい。
【I (日本名)】さんっておっしゃい〈はい〉ますと日本の名前…
- I: あっ, あの, つい最近〈はい〉帰化しておりました。
- T: あー, はい。
- I: はい。
そ, あの前の名前は【I (中国名)】と…
- T: あー, 【I (中国名)】さん, はい。
- I: 申します, はい。
- T: えーっと, どちらの国からいらしたんですか?。
- I: はい, えーっと, 中国の〈はい〉【地名1】からきました。
- T: あっ, そうですか〈はい〉。
じゃあ, あの, 日本にいらしてからどれくらいですか?。
- I: えーっと, 95年に来まして〈ええ〉, もう今年で13年, 目ですね, はい。
- T: あー, そうですか〈はい〉。
じゃ, えっと【地名1】にはどのくらいいらしたんですか?。
- I: えっとー, 二十歳のときに来たので〈はい〉, はい, で, 二十歳までずっと【地名1】に。
- T: あー, そうですか。
- I: はい, 住んでいました。
- T: じゃあ, だいぶ日本が長い…
- I: そうですね {笑}。
- T: ですね, はい〈はい〉。
【地名1】には時々帰られるんですか?。
- I: そうですね, 学生のときには〈ええ〉大体年1回くらい〈はい〉, はい〈はい〉, 帰ってます。
- T: はい。
今は?。
- I: 今はちょっと, 子供もいますので。
- T: あー, そうですか〈はい〉。
お子さんは, あのー, おいくつくらいですか?。
- I: えーっと, 上の子は〈はい〉4歳で〈ええ〉, 下の子は2歳です。
- T: そうですか〈はい〉。
でも, 時々【地名1】のほうに帰られないと, あの, …
- I: そうですねー {笑}。
- T: 寂しい, 寂しがられたり。
- I: そうですね。
私は, あの, 一人っ子なので〈ええ〉, で, 特に親がすごく寂しがってる〈ええ, ええ, ええ〉みたいなんですけども, でも, あの, 今も, あの, 親がこちらに来ておりました, はい。
- T: あー, そうですか。
中国で, あの, お子さんは育てられないでこちらでお育てられるのは〈{笑}〉, 何か, お考えってありますか?。
- I: そうですね〈はい〉。
私は, 子供のときに〈ええ〉, あの, ま, 中国のほうは, 二人, あの, 親同士が共働きっていうのは〈はい〉, もう, 普通〈はい〉なんです〈はい〉けれども, うちの親もそうだったんですね〈はい〉。
で, すごく忙しくて〈ええ〉, で, あの, 私の面倒見てられないみたいな〈はい, はい, はい〉感じなんですけど。
で, おばあちゃん子だったんですね, 〈はい, はい〉私は。
それでもすごい, でも周りに子供もいないし〈うん〉, あの, 寂しい〈うん〉というか〈うん〉, 当時では

K006

もう当たり前のことなんです〈うん〉けど。

今考えたら、あの、ちょっと寂しかったのかなって、あの、記憶があるんですね〈あ〉。

ですので、あの、自分の子供はやっぱり、自分の手で育てたほうが〈はい〉、まあ、子供が大きくなったときに〈うん〉、あの、やり残しみたいな〈はい〉、あの、そういう気持ちにならぬように〈はあー〉。

まあ、自分、自己満足みたいな。

T: あっ、日本にいたら、自分の手で育て、られるということなんですか？〈んー〉。

あの、国、中国では、どうして自分の手で育て…

I: そうですね。

あのー、基本的〈はい〉には、あのー、ちっちゃいときに、小学校に入る前には〈うん〉、あの、親が〈はい〉手伝ってくれるのは普通なんですね〈はい〉。

まあ、家庭事情というのか〈ええ、ええ〉習慣というか〈はい、はい〉。

で、日本では周りには、あ、そう、そういうケースはほとんど見当たらない、っていう〈ええ、ええ〉のがあるので〈はい〉。

そういう、まあ、影響もあるんですね、うーん。

T: あー、で、えーっと、【I】さんは〈はい〉、えー、日本を選ばれた。

あのー、じぶ、ご自分で育てるということで日本を選ばれたんですか？。

I: いや、そうではないん〈はい、はい、はい〉ですね〈はい〉、はい。

T: どうして、あのー、というのは、あのー、中国だと〈はい〉、あの、親御さんがいろいろ手伝ってくださるっていうことは、今の日本なんかでは、もうほんとに育児で、ストレスで、あの〈んー〉、誰も助けてくれない〈あー〉て言って悩んでします若いお母さん多い〈{笑}〉、多いですよ。

それが、〈あー〉中国ではとってもスムーズに行くのに、…

I: そうですねー。

T: はい。

どうしてかなって、ちょっと、思ったんですけど。

I: あー、まあ、確かに親が、手伝ってくれたほうが〈ええ〉、もう、すごく楽〈はい〉ですね〈はい〉。

精神的にも〈はい〉時間的にも、〈はい〉体力的にも〈はい〉そうですね〈はい〉。

あの、こちら、なんていうかな、日本って〈はい〉親に頼る、っていうのは、最初から頭になかった、んですね〈はい〉、私の場合は〈はい、はい、はい〉。

で、そうですね、周りの人もみんな自分で育てたりとか〈うん〉そういうのは当たりまえ〈うん〉みたいな〈うん〉環境なので〈うん〉、で、かつ、あのー、私も、あのー、子供を保育園に入れたりして、〈うん〉昼間はほとんど自分の自由時間もあるので〈うん、うん〉、別にストレスも感じないんですね。

T: あー、そうですかー、ふーん。

I: んー、そうですね。

まあ、友達は、あの、自分で面、子供の面倒見たりして〈うん、うん〉、で、保育園とか、そういう、まあ、日本の保育園事情も結構大変みたいなのでけれ〈はい〉ども、その、はい、あの、入れたくてもはい、入れられない〈ええ〉ケースもあるんですけど、そうですね、うちは割りとスムーズに、そういう、はい〈ふーん〉、公的機関で〈ええ〉やってくれてる部分で助かっているんですね〈ええ、ええ〉、はい〈はあー〉。

ですので、あの、親に頼ったりとか、〈はい〉あの、そういうのが別にしなくても、はい。

T: それはお国に帰って、ご両親にお願いする、っていうことは、必要がなかったということですか？。

I: そうですね〈ふーん〉、まったくそういう風に考えていなくて、はい。

T: あーそうですか。

ただ、日本の場合、保育園とかが、なかなか充実していませんよね？。

I: そうですねー。

T: はい。

中国はどうなんですか？

I: 中国は、保育園に入れる、保育園自体はそんなに多くないんですね、今は〈はい〉。

昔は、もう会社、国営会社が多くて〈はい〉、それに付属してるケースが、多かったんですけど、今はもう私立とか、学校のふぞ、付属みたいな保育園があるんですね。

でも少ないですね〈ふーん〉。

で、大体は親元で〈ふん〉、あの、まあ、おじいちゃんおばあちゃんが〈はい〉見てくれるケースが多いん

K006

ですね。

T: あー、そうですか。

あの、ま、中国って言うの〈んー〉は日本に、日本がまあ、まあ資本主義で民主主義っていうことで〈{笑}〉考えると〈はい〉、社会主義の〈はい〉国なので〈はい〉、やはり、そういう保育所などは充実〈んー〉しているんじゃないかと思ったんですけど。

I: 今は、昔と比べると少ないと思いますね。

T: あー、そうですかー。

I: はい。

もう、会社の改革とか、色々軽量化したりとか〈はい〉、そういう趣旨で〈ええ〉、そういう保育園とか〈はい〉、なんと言のかな、福利厚生〈はい〉、そういう部分が〈はい〉だいぶ減らされたりとか〈ええ〉しているので〈ええ〉。

そうですね、んー。

T: 何かそれで問題が起こったりっていうことはないんですか？。

I: そうですね。

もう、今、子供が一少ないじゃないですか〈はい〉。

あの、一人っ子政策〈はい、はい、はい〉で。

で、親が四人で〈はい〉子が一人みたいな〈はあー〉。

もう、奪い合いみたいな感じで〈はい、はい、はい〉うちでみて、みる〈はい、はい、はい〉みたいな感じなん、なので。

割と、多分そんなに問題にならない。

T: あっそうです、こど、子供の面倒を見るという…

I: 楽しみみたいですね。

T: 点では、問題は〈はい〉ないということなんですね〈はい〉。

そうですか。

そうすると、日本の場合は、あの一、まあ、自分のま、娘に子供が生まれて〈はい〉、といっても、時々遊びに来てくれるのはいいけど〈{笑}〉、あの、面倒見るのはいやよ、…

I: そんなー。

T: っていうような、…

I: そうなん。

T: たぶん、あの、親が〈はい〉多いんじゃないかと…

I: そうなんですねー。

T: 思うんですけど。

あの、そういう中でお子さん育てられるのに、保育園があれば、特に問題はないんですか？。

I: 特には問題ないんだと思います〈あー〉、はい。

うちの場合は、まったく、はい。

逆にこう、親、〈はい〉主人の親と、〈はい〉ちょっと離れてる〈はい〉んですけど、その分は楽って言うか〈ふーん〉、変な言い方なんです〈はい〉けど、はい。

T: ちょっと、これお伺いしてもいいのか、あの、一人っ子政策でね〈はい〉、私なんか、逆にこの何人もの、お父さん、おじいちゃんおばあちゃんが〈{笑}〉、4人、私が、っていうことになる〈はい〉、お孫さん一人なわけでしょ？。

I: そうですねー。

T: で、すごく、こう、こども、あの…

I: わがままな子になります、はい。

T: なります。

だから、その、保育所の面はまあいいとして〈はい〉、保育って点ではいいとして、だからそういう点でど、どんな、…

I: そうですねー。

T: こう、ちょっと、はい、詳しく教えて、何かご存知のことが…

I: そうです。

T: あったら教えて…

K006

I : そうですね。

私もずっと日本に、あの10何年間いて、具体的なことは、あんまり、あの、知らないんですけども。で、あの、【地名1】に帰って、子供たちをつれて〈はい〉帰って、遊びに行つて、で、向こうの友達も大体、おと、おなじくらいの子供もいるんですけど、一緒に遊べ、あの、遊ばせたら、すつごく、あの、うちの子が、戸惑うんですね〈はい〉。

で、こっちの保育園の方針っていうか、親の考え方としては、こう、お友達と、こう、けんかするのはだめ。

あ、基本的には、こう、譲り合う〈うん〉。

あの、そう、そういうときには、あの、どうぞ〈うん〉使ってください、みたいな感じ〈うん、うん〉、教えたんですね〈うん、うん〉。

で、通用しないんですね〈はあ〉。

向こうにいったら、ほんとに、強いほう勝ち〈はい〉、早いもの勝ち〈はい〉、そういう競争、競争心がすつごく、あの一〈ん〉、なんていうかな、強い〈あ〉んですね〈ん〉。

ん、なんかこう、負け、負けず嫌いついていうのはいいほうに捉えるんですけど〈はい〉、ちょっと違和感があるんですね、やっぱり。

T : そうですか、で、【I】さんご自身は中国のご出身ですけど〈{笑}〉、あの、どっちのほうが。

I : どっちの。

ん、そうですね。

自分は、どっちか、性格的にはどっちかという、そんなに激しいほうじゃないと、あの〈ん〉、自分かと思うんですけど〈うん〉。

でも、ん、そうですね、子供は、これからの人生長いんですし、その分も、あの、なんというかな、こう、すつごくプレッシャーを感じたりとか〈うん〉、あの一、なん、なんというかな、こう、あの一、闘争して〈うん〉、あの、上に行くというのも〈うん〉、あの、私としては、あまり好きじゃないん〈あ〉ですね。

ですからこう、子供、に余裕を持たせたりとか〈はい〉、心の〈はい〉、心の豊かさを持たせたほうが〈はい〉親の務めなのかな〈はあ〉って、ちょっと、あの、自分の中で考えて。

T : あ。

心の豊かさを育てるという点で〈はい〉、日本と中国、っていうのは違うんですか？。

I : そうですね。

向こうはやっぱり、なんていうかな、あの、物に対する、その執着、〈はい〉あの一、まあ、大人でいうと地位とか〈はい〉、そういう、生活に欠かさない部分〈うん〉にすつごく執着してる〈うん、うん〉のが、あの一、すつごくあるんですね〈うん〉、はっきりいって〈うん〉。

で、もちろん日本ではものが溢れている〈うん〉って部分も〈うん〉あるんですけど〈うん〉。

で、あの、なんていうかな、もう周りに何、なん、もう全部存在していて〈うん〉、生まれてから、もう、車もあるし〈うん、うん〉、車に乗っていて〈うん〉、あの、そういう、あの、なにかに、何かに、何か足りない〈うん〉、欲しいっていう〈うん〉気持ちか〈うん〉ほとんどないんじゃないんですか〈はあ〉、日本人は、そういう〈はい〉、その、ハングリー精神っていうのが。

で、あの、向こうの人は、やっぱり、成功したいっていうか〈はい〉、今でもすつごく、感じられるんですね〈はあ〉そういうことが〈はい〉。

ですので、私もすつごく、なんて言うかな、今、あの一、アルバイトで、あの、留学生と付き合うことが多くて〈ん〉、そういう面倒見たりとか〈ん〉、そういうことが多いんで〈ん〉、見るとやっぱり、中国からの留学生とか〈うん〉、まあ、韓国はどっちかという、日本にちょっと近い感じがするんですけど、でも、なんていうかな、すつごく闘争心があって〈はい〉、中国の場合はね。

で、上に行きたいって言う、もう見てわかる〈ん〉んですね。

T : あ、そうですか。

I : 気持ち的には。

でもずっと日本にいと〈ええ〉、その、だんだんその気持ちも、こう、あの、なんていうかな、あの、解れて〈あ〉くるっていうか、もうだんだんこう、慣れていく、心の豊かさ。

T : それが【I】さん {名前を間違える}、【I】さんには合っている。

I : 合つて、そうですね、今は自、私、なんていうかな、こっち、今の生活には満足して、いる。

T : そうなんですか。

K006

- I : んー, そんなに, あ, なんていうかプレッシャーを感じないですね。
- T : それが心の豊かさにつながっていく…
- I : うーん, かどうかは〈あー〉分からない。
- 確かに〈はい〉, どうかはわからない〈うん, うん, うん〉んですけども, そうですね, 〈うん〉まあ, 子供にもそういう余裕を持たせたいなっていう。
- T : あー, そうですね。
- ただ, 日本の場合, そのさっきハングリー精神と〈うん〉おっしゃいましたけど, それがないので〈{笑}〉, まあ, あの, オリンピックとか…
- I : そうですねー。
- T : いざというときに〈うん〉, あの, がっと, 力が, もう, で, そのまま出ないで〈{笑}〉, 落ちてしまって〈うん〉負ける。
- I : そうですねー。
- T : で, そういう点は中国の〈うん〉ような, しっかりともう, 自分で勝つんだっていう気持ちを強く持って, 大きくなった方がいいんじゃないかっていう〈んー〉話はもう, すごくよく聞くんですけど。
- I : そうですね。
- でも, あの一, 例えば, 今回のオリンピックを見ていて, あの, 重量挙げを見たんですね。
- で, すごく, ずば抜けて強かったんですね, 中国の〈はい〉場合が。
- で, それを見ると, あの, なんとかなるか, こう, あの, 心が痛いって言うか〈へえー〉, 部分があるんですね。
- もう, 事情, あの, その, 現地の事情がわかっていて〈はい〉, その家族の中, すごく貧乏な生活していて〈はい〉その中の一人を犠牲にして〈はい〉, こう, すごくつらい訓練をして〈はい〉, ほんとに普通の人, 多分考えられないような〈ええ〉環境で, こう, 訓練を受けたり〈はあー〉して, 〈はい〉それで勝つんじゃないんですか〈はあー〉。
- でも, それが, オリンピックなのかって, ちょっと〈はあー〉, 分からないですね。
- T : あー, じゃあその事情がわかる, …
- I : そうですね, 裏の {笑}。
- T : ちょっと, なんか, そこをもう少し詳しくお聞きしてもいいですか, はい?。
- I : んー, あの一, 向こうの報道とか〈はい〉, あの一, 以前はすごく, あの一, 国のコントロールの元で, まあ, なんていうかな, マスメディアの〈ええ〉ことが, コントロールされていて報道できないことが多かったんですけど〈はい〉, 最近, 割と, 国内では, 〈はい〉あの, 言いたいこと, 言え, いえ, だんだん言えるようになってきてるんですね〈ええ, ええ〉。
- だから, その, なんていうかな, 選手たちにインタビューして〈うん〉, あの, どうしてこんなに, つらい訓練を〈うん〉耐えて〈うん〉, あの, こう, 勝ち取ろう, あの, メダルを勝ち取ろうとしているんですか, って聞いた〈うん〉ら, で, お母さんの, 生活を〈うん〉楽にさせたい〈うん〉とか, そういうこと言うんですね〈うん〉。
- でも日本では絶対にそういうこと言わないですよ〈はい〉。
- だから, その, まあ, その, いいか悪いか, その人よって判断が違うと思うんですけど, やっぱり, その国の〈うん〉全体的な経済力, 上げないと〈うん〉, そういう, なんていうかな, レベル, その差, 格差が絶対に出てくるし〈はあー〉, たとえば, 【地名1】とか上海とか〈はい〉そういう大都市だと, あの海外に子供を留学させたりとか, 今はもうほんとに両極化的に, こう, あの, にと [ニート]とか, 日本みたいなこう, 働きに, 行かない〈はい〉で, 親の…
- T : ニート。
- I : そう, ニート〈はい, はい, はい〉をやったり〈はい, はい〉とか, そういうことがけっこう, 結構多い〈ええ, ええ, ええ〉んですね。
- 大学4年生〈はい〉になっても〈はい〉5年生〈はい〉になっても〈はい〉卒業しない〈はい〉, そういう人が出てきてるんですね〈はい〉。
- でも, 田舎とか, こういう, 貧乏な所に行くと〈うん, うん〉, さっき言ったような〈うん〉, うん, すごい人もたくさんいますね。
- T : でも, そういう, まあ, 貧しい人たち…
- I : そうですねー。

K006

- T: のことが〈んー〉頭に浮かんで〈んー〉、心が痛んだりとかする。
- I: 痛いんですね。
- T: そうすると、その、ニートなんかのを〈{笑}〉、あの、の問題を、あの、見てらっしゃると〈そう〉、いらいらしたりしませんですか？
- I: しますよ {笑} 〈{笑}〉、とっても〈はい〉、とっても。
考えられない〈うん〉というか〈はい〉、うん。
そういう、まあ、日本もまあいいところと悪いところもちろんあるんです〈はい〉し〈はい〉。
そうですね、その人の考え方と、そうですね〈うん〉、どっちか絶対にいいとか〈うん〉、言えないんですね〈うん〉。
- で、中国はもう、ハングリー精神のほうが〈うん〉、すごく、あの、なんていうかな、私の捉え方としては〈うん〉、あの一、なんていうか、ある部分はすごく、いい、んだけど、ある部分は、すごい、なんか、残酷な部分があるし〈うん〉、自分から見ると、見ても、こう、あの、心が、痛いとか〈うん〉、そういう事もあるんですけ〈うん〉れども、で日本に対しても、おんなじような〈うん〉気持ちがあるんですね。
- T: やっぱり〈うん〉。
あーそうですか〈はい〉。
同じような気持ちっていうとその。
- I: もう腹が立つみたいなの〈あー〉。
見ててありえないと。
- T: 歯がゆくなる、っていうようなことですか。
そうですか。
両方ご存知ですものね。
- I: いやいやいやいや。
- T: あの一、【I】さんが、そういう、なんて言うんでしょう、ニートとか、〈{笑}〉引きこもりとか〈はい〉、そういう日本人に〈うん〉、あの、日本人をこう、社会に、こう、目を向けさせるような立場〈うん〉の、お仕事についていらっしゃったとしたら、どんな風に〈んー〉、あの一、何というか、対策を立てるとか、…
- I: {笑}、対策。
- T: アドバイスをするとか〈んー〉、そういうこと考えられますか？。
- I: そうですね。
まあ、対策は、たぶん私は、私なんか、もうできないと〈はい〉、はい〉思うんですし〈はい〉、あの、助言とか〈はい〉アドバイスも多分、ならないと〈はい〉思うんです〈はい〉けど。
あの、ま、さっき言ったハングリー精神がもう、いい面もあるし〈うん〉悪い面もあるん〈うん〉ですけれども〈うん〉、もう、あの、なんていうのかな、こう、ある程度、その、あの、物とかそういう自由がない、〈うん、うん〉生活を体験したほうが〈うん〉悪いことではないと、〈うん、うん、うん〉思うんですね〈うん〉。
- ただ、それ、物とか、そういうことに対する執着が〈うん〉ど一[度]があるじゃないですか、限度が。
- T: 限度が、はい、うん。
- I: それを超えると、ちょっと、まあ、変な〈はあー〉形になってしまう〈はい〉おそれ、恐れがあると思うんですけれど〈はい〉、今の日本人の子供たちは〈うん〉、やっぱり、物が溢れて、るんじゃないですか〈うん〉。
- それを大事にする気持ちは、しょせんない〈うん、うん、うーん〉ですし、親に対する感謝の気持ちもないんですね〈んー〉。
- で、あと学校もすごく、あたしは、今こど、上の子四歳なんですけど〈うん〉、これから小学校に入るんじゃないですか〈うん〉。
- で、あの、公立の小学校だと、今もう、ほんとに学級崩壊とか〈うん〉、学校の授業にならないとか〈うん〉、そういう話ばかり〈うん〉聞いて、〈うん〉実際はどうなのかわからない〈うん〉ですけど、〈うん〉すごく不安なん〈うーん〉ですね。
- で中国では、私一が見てる限りには〈うん〉絶対にありえないこと〈あー〉なんですけど、先生のことを逆らう〈うん〉、そういう暴力を振るう〈うん〉、で、そういう、なんか、ほんとに考えられないことを、日本、にあふれているというか、もうあちこち発生している、こと自体は、すごいふし、不思議〈うん〉ですし〈うん、うん〉。

まあ、まあ、全然もう大きい問題になって、いま、うん〈はい、はい〉、ですけど、もうどこから手をいれるのか、もうほんとに…

T: わからない。

I: わからないんですね〈あー〉。

だから、〈はい〉周りのお、担任の子供を注意したりとか、する勇気は持ってない〈はい〉ので〈はい〉、最低限は〈はい〉自分の子供を〈はい、はい〉、あの、ちゃんとするように、…

T: うん、ちゃんとするように。

I: うん、あの、なんていうかな、こう、しつけを〈あー〉することが大事なんじゃないかと思うんですけど。

T: とおっしゃると、さっきおっしゃったように、ものを…

I: そうですね。

で、例えば、あの、別に、あの、その、か、結構物が安く手に入る〈うん、うん、うん〉じゃないですか。おもおちゃとか〈うん、うん〉食べ物も〈うん、うん〉。

そうですねけれども、絶対に欲しいものを買って与える、〈うん〉のは、〈うん〉いい事じゃ、〈あー〉ないと思うんですね。

だから、なん、こう、欲しいものがある〈ええ〉、何が達成できると、ご褒美みたいな感じ〈ええ〉で与える〈はい〉。

そういう事を今うちでやっているんですけど〈はい、はい〉、たとえば、あの、ほんとに、それが正しい事か〈あー〉はわからない〈はい、はい〉んですけど、ひらがなを〈はい〉勉強するとか〈はい〉、じゃ、どこまで勉強できた〈はい〉とか、読めたとか〈ええ〉、それで、あつ、じゃあ、ちょっと、ご褒美で〈ええ〉何か、こう、欲しいもの〈あー〉、ちょっとちっちゃい、あの、プレゼントみたいな〈はい、はい〉物を、与えたりして〈あー〉。

あつ、じゃあ、やる気がまた出てきましたみたいな。

T: あっえっ、それが欲しくて、やるっていう風になったら、…

I: それ…

T: 貰えなかったら〈{笑}〉、やらなくなったりしませんか？。

I: それもそうですね〈はい〉。

危ないかも〈{笑}〉しれないですけど、でもそういうできる範囲〈はい〉の中で〈はい〉、あの、一応、こう、親の、コントロール〈んー〉をしているんですけど、それが、あの、100%いいことだと〈うん〉多分だれも保障できない〈はい、はい〉と思うんですけど〈はい〉教育上では〈ええ、ええ、ええ〉。

でも、最低限は子供に〈はあー〉、あの、そんなに物が簡単に手に入るわよ〈はい、はあー〉って言う風に思わせ、思わせないように〈はい〉、こう、何かいいほうこう、ほう、〈うん、うん〉方法がないの〈うん〉かなってこう、今、あの〈んー〉、まあ、主人と〈んー〉相談して〈んー〉、うん。

T: そうですね。

もし、その、学校の先生だったら〈{笑}〉、学級崩壊になってそうなクラスに入られたら、子供に何か、〈んー〉こう、一言言いたい事っていうのはありますか？。

I: あつ、私は〈はい〉教育者と〈はい、はい〉するんですか〈はい〉。

そうですね。

それほんとに難しい〈んー〉問題ですね〈んー〉。

うーん、そうですね、多分一人の個人で〈はい〉何かできる問題〈んー〉じゃないと思いますね。

T: やはり、あの一、物を〈んー〉すぐ与えるとか〈んー〉、大切にしないと、…

I: そうですね。

T: そういところから。

I: 基本的には、あの一、多分、それも極端的な〈はい〉考え方だと〈ええ〉思うんです〈はい〉けれども、家族を〈うん〉大事にする〈あー〉って言うか、家族を単位に〈はい〉、あの一、何かしないと〈うん〉全体的社会的な問題〈うん〉まで大きくなる〈うん、うん〉ような〈うん、うん〉ことなる前に〈うん、うん、うん〉、家族の単位で〈ええ〉解決できないんじゃないのかな〈あー〉ってすごく思うんですね。

T: あっわかりました。

はい、ありがとう〈{笑}〉ございました。

よ、えっと、こ、えっと、日本と中国だと、あの、日本にお住まいだと、おうちは、あの、ぜんぜん広さが違うんじゃないですか？。

K006

- I : いや、あの、別に【地名1】の、あの、に住んでる〈ええ〉うちもそんなに大きなうちじゃないので。
- T : あー、そうですか〈はい〉。
- 【I】さんはアパートとかに住まわれたことってありますか？。
- I : あります。
- T : あー、そうですか。
- I : あのー、最初に日本に来て〈ええ、ええ〉、四畳半で〈あっ、そう〉、中にトイレが入っていて〈あっ、はい〉、ほんとに狭かったんですね。
- T : あー、そうですか。
- やー、実は、ちょっと今からね〈うん〉、ロールプレイをね〈{笑}〉したいと思っているんですけども〈はい〉、あのー、これ、いかがですか。
- あの、マンションの〈はい〉管理人になっていただいて〈はい〉、えっと、山田さんっていう人がね〈はい〉、まあ、うるさいって苦情言ってきたんですけど〈はい〉、あの、山田さんに代わって、山田さんの隣の人に、管理人として〈はい〉それを伝えて、欲しいんですね〈{笑}〉、はい。
- で、私その山田さんの隣で〈あっ、はい〉、あの、うるさくしてる〈はい〉人になりますので〈はい〉、ちょっと、お願いしてもよろしいですか。
- I : はい {笑} 〈{笑}〉。
- こういう経験はないので〈はい〉、ほんとに難しいんですよ {笑} 〈{笑}〉、はい〈はい〉。
- あっ、すみません〈はい〉。
- あの、ちょっと、あの、えーっと、音が大きいっていう苦情が、ありまして。
- T : あー、申し訳ないとは思うんですけどね〈はい〉、これも仕事でね〈あー〉、もう、あと、三時間で納品しなきゃいけないんで〈はい〉、やめるわけにはいかないんですよ。
- I : あー、そうなんですか〈ええ〉。
- そうですね。
- それもお仕事の場合はしょう、仕方ないんです〈ええ〉けれどもね、あーでも、周りの人も、〈ええ〉ちょっとあの、多分色々、あの事情があるので。
- T : えっ、隣の人うるさく言ってるの？。
- I : いやいやいやいや、そういう問題じゃないんですけども〈ええ、ええ〉、もし…
- T : 隣の山さん、山田さんでしょ〈{笑}〉。
- あの人うるさいんだよねー。
- I : でも、できれば〈ええ〉、あのー、そうですね〈ええ〉、あと、もうちょっとですよ？。
- 仕事のほうが終わる…
- T : あー、あと三時間くらいなんですけどね。
- 我慢してもらえたらうれしいんですけどねー。
- I : あっ、じゃあ、もし〈ええ〉、できれば〈ええ〉、もうちょっと音を小さくして〈ええ〉、あのー、早めに〈ええ〉、あのー、していただければ助かるんですけども。
- T : あー、そうですかー。
- じゃあ、ちょっとご迷惑かけないように。
- I : お願いしますー。
- T : えー、何とかします。
- I : お願いします。
- T : はい、ありがとうございました。
- じゃあ、それで、これを〈はい〉、あのー、仲のいいお友達に〈はい〉、かん、管理人さんなんだけど、仲のいいお友達に、こんな、ことがあったっていうように話して頂けますか？。
- I : あっ、そういうことが、あっ、そういう〈うん〉ことが〈うん〉あって、その第三者の人〈はい、はい〉に話す。
- T : 第三者が私を、またなります〈{笑}〉。
- すごく仲のいい友達で、うん。
- あー、【I】さん。
- I : こんにちはー。
- T : どう、管理人さん、始めてー？。

K006

- I : 大変ですよ。
- T : ほんとー。
- I : いろんな事ありますねー〈ふーん〉。
もう、山田さんってご存知でしょう？
- T : うん、うん、うん、うん。
- I : 隣の人が〈ええ〉、ちょっと、仕事で〈ええ〉、すごい大きい音を出して〈あー、はい、はい〉すごい迷惑しているんですよ。
で、そしたら〈へー〉私のほうに言って〈ええ、ええ、ええ〉きて、あーもうそれもね、〈うん〉ちょっと、話をしにいったら〈ええ〉、もう仕事で、できないんですよ〈うーん〉とかいって、もう大変でした。
- T : でもよくそんな人いるわよねー〈んー〉。
でも、どう、その人ってすぐ言うこと聞いてくれるの？
- I : やー、そんなすぐには絶対に聞かないんでしょう〈うん〉。
でも、まあ…
- T : かえって、でも…
- I : そうですねー。
- T : うらまれたりしない、うん？。
- I : そうですねー。
ちょっとね、この仕事をしてる限りに〈うん〉はね〈うん〉。
- T : {笑}〈{笑}〉、大変じゃない？。
ストレスたまるでしょう？。
- I : たまりますね。
- T : うーん、どうするのストレス解消は。
- I : そうですね〈うーん〉。
私はカラオケが好きだから。
- T : あー、そう。
じゃあ、今度一緒に行こうか。
- I : そうですね〈あー〉。
一緒に行きましょう〈{笑}〉{笑}。
- T : どうありがとうございました {笑}。
- I : {笑い} すいません。
- T : えーっと、ちょっと最、急に冷えてきましたけど、…
- I : そうですねー。
- T : どうですか、【地名1】と日本とだと？。
- I : そうですね。
最近天気もすごく変で〈ええ〉、向こうはもうほんとに、11月くらいだともう、結構10度ぐらい、まで〈あっ、はい、はい〉下がるんですけど、今年はそうでもないみたいですね。
- T : あっ、そうですかー。
- I : うちの親がちょうど、あの11月の初め頃に〈ええ、ええ〉来てて〈ええ、ええ〉、あー、もうおんなじくらい〈あっ、そう〉かなって言ってたんですけど。
- T : そう、じゃあ、もう東京もあんまり変わらないぐらいなんですね。
- I : そうですねー。
- T : そうですか。
じゃあ、まあ、【地名1】のほうが、全体的に、まあ気温は低いから、…
- I : そうですねー、大陸**ですよ。
- T : 日本の冬が苦手って訳では、ないですね。
- I : ではないですね。
- T : そうですかー。
- I : 割と、うちの〈はい〉お父さんが〈ええ、ええ〉、あの一、すごく、こっちの、気候に適しているっていつて〈ええ、ええ〉、あの一、糖尿病が20年間、患っていて…
- T : 中国のお父様？。

K006

- I : あっ、はい〈あー〉。
今、日本に〈はい、はい、はい〉来ていて、で最近すごく元気ですよ。
で、…
- T : そうですかー。
- I : 向こういるときに〈うん、うん、うん〉足腰が痛くて〈ええ、ええ〉、なんか、あー、目もちょっと、糖尿病の〈あー〉、あの一、後遺症というか〈ええ、ええ〉、あの、合併症〈はい〉で見えなくて〈はい〉、で、もう、なんか、こっちにきて、まあ孫を見て〈はい〉て楽しい〈あっ、んー〉ってこともあるんですけど、…
- T : そうですかー。
- I : すごく元気になってる。
- T : あっ、それはいいですね〈{笑}〉。
まだしばらくいらっしゃる予定ですか？
- I : そうですね、私はほんとに、論文を提出する予定〈ええ、ええ〉があるので〈ええ〉。
それで、それ提出するまで〈ええ〉1月まで、はい。
- T : あっそうですか〈{笑}〉。
じゃあ、これからも結構大変…
- I : そうですね。
- T : ですね。
はい、頑張ってくださいね。
今日はでもいいお天気だから、…
- I : そうですねー。
- T : ちょっと、のんびり散歩しながら〈{笑}〉、おうちにお、帰ってください、はい。
ほん、今日はほんとにどうも…
- I : いえいえ。
- T : ありがとうございます。
- I : ありがとうございます。